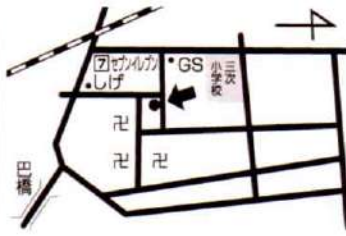


ほほえみ



0824-62-1182
<http://www.kamidani-shika.com>
 紙谷 歯科 医院
 発行人・紙谷 寛

特集 歯科治療の過去・現在・未来

むし歯や歯周病によって失われた歯の組織を再生する——。そんな夢の治療法の開発が急ピッチで進んでいます。歯そのものの完全な再生はまだ先の話ですが、歯の象牙質や神経（歯髄）などの再生については実用化が着々と進んでいます。

❖ 抜かずに治療

その一つが歯周病をめぐる再生医療です。歯周病は悪化すると歯を支える骨（歯槽骨）が溶けてしまい、歯がグラグラになってしまいます。これまでの治療では最終的に歯を抜く以外に方法がありませんでした。

「何とか歯槽骨を再生できないか」——。各地の大学や研究施設では、重度の歯周病でも歯を抜かずに治療ができるよう骨や歯肉を再生する研究が進められています。



研究が進む夢の再生医療

るかもしれません。その前に一言。夢の再生医療の研究が進んでいるからと言って、日常の口腔ケアやメンテナンスをおろそかにしないでくださいね。

※幹細胞は血管や神経、皮膚などさまざまな細胞をつくる「もと」になる細胞です。話題の「iPS細胞」も幹細胞の一つ。

❖ 幹細胞を移植

大阪大学歯学部では、患者自身の脂肪から採取した「幹細胞」(*)を使って歯周病の再生医療の研究を進めています。幹細胞を溶けた骨に移植することで再生を促します。

臨床研究で実際に歯周病の患者さんに移植したところ、骨の再生が確認されたということです。

近い将来、歯周病で歯がグラグラになっても、抜かずに治療できる日が訪れる

診療日記



むし歯じゃなくても歯が溶ける？

むし歯は、ばい菌の出す酸によって歯が溶ける病気ですが、酸性の強い食品などによって歯が溶ける場合を酸蝕症（エロージョン）と言います。

昔、何かの間違いで水質が酸性になってしまったプールで練習をしていた水泳選手たちの歯が溶けた

事例があり、スィーマーズエロージョンなどと呼ばれたことがあったそうです。これは特殊な例ですが、食品やビタミンCなどのサプリメントによる酸蝕症も見かけます。

食事後は口の中が酸性に傾くため、直後の歯みがきは歯を傷めるという説は根拠がはっきりしない様ですが、酸のきつい食品を食べた直後の歯みがきは控えた方が良さそうです。

お茶や水で口の中の酸性度を下げることも予防になるでしょう。

ここが知りたい

コンピューターがつくる歯科技工物

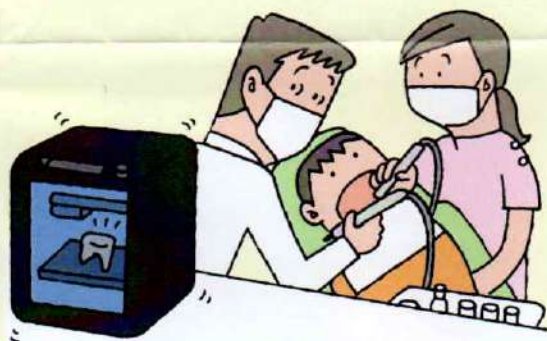
むし歯治療で歯を削った場合、ペースト状の歯型を採る材料を口に入れ、型採りをします。詰め物や被せ物など歯科技工物をつくるために必要な作業ですが、材料が固まるまで口に入れたままにしなければならず、苦手な人が少なくありません。なかには吐き気をもよおす人も。

最近では型採りせず、カメラで口腔内を撮影する「3Dスキャナー」の開発が進んでいます。スキャナーを使って計測すれば、瞬時にパソコン上で歯型を立体的に表示させることができます。

進化はそれだけではありません。歯型の3Dデータがあれば、コンピューターで詰め物や被せ物を設計し、3Dプリンターなどで作り出すことができるようになります。完全に実用化されれば、従来の歯科技工で不可欠だった型

採りの材料や歯型の石膏模型が不要になります。

実は、コンピューターによる歯科技工物の設計・加工システム（CAD/CAM）はすでに一部の歯科医院や歯科技工所に導入されています。あと数年もすれば、歯科技工の現場は様変わりしているかもしれません。



Q&A

患者さんからのご質問にお答えします

Q: 江戸時代の人びとはむし歯になったらどんな治療をしていたのでしょうか？

A: 当時は現代のように砂糖などを頻繁に口にする機会がなく、むし歯になる人は多くなかったようです。とはいえ、現代的な歯ブラシやブラッシング技術も確立されていなかったため、むし歯になる人はいました。

現在の歯科治療はむし歯になった部分を削り、穴の開いたところに詰め物や被せ物を施します。当時は歯を削る機器や歯を修復する材料も存在せず、歯を削るという発想さえない時代。痛みを取り除くためには歯を抜くしかありませんでした。痛みをやわらげる麻酔薬もない中で、歯を抜くのは荒業でした。木製の入れ歯も作られていたようですが、高価なため庶民には手が出なかったようです。

ひとログルメ

れんこんバーグ

1人分
313kcal

食物繊維で大腸ガンを
予防し、粘りのムチンで
老化防止



■ 材料（4人分）

れんこん400g、豚ひき肉300g、
にんにく1/2、生姜1/2、長ねぎ10cm、

④(卵1個、パン粉1/2カップ、味噌大さじ1、砂糖小さじ1/2、醤油小さじ1)、酒大さじ2、サラダ油大さじ2
☆お好みで練がらし少々

■ 作り方

- ①にんにく、生姜、長ねぎはみじん切り。
- ②れんこんの皮をむき、3mmの薄切り16枚を作り、残りはすりおろす。
- ③①と豚肉、④、すりおろしたれんこんを入れよく混ぜ、8等分にして上下に薄切りれんこんを押し付ける。
- ④フライパンに油をひき、③を強火で片面を焼き、裏返して酒を入れ弱火で5分間蒸し焼きにする。

(管理栄養士 西部典子)

こどもの歯のコーナー



子どものむし歯は減少も 口腔内の健康格差が問題に

子どものむし歯は、この50年で大きく減少しました。

文部科学省の調査では、1970年代には9割以上の子どもたちがむし歯という状況でしたが、平成20年度には約6割にまで減少。平成30年度には幼稚園、小学校、中学校、高校のすべてで半数を切りました。これは歯科界を先頭に啓蒙を進め、国民の予防意識が高まった結果だと言われています。

子どものむし歯が減少する一方で、多数のむし歯を抱え、咀嚼が困難な「口腔崩壊」状態の子どもの存在が明らかになり、健康格差

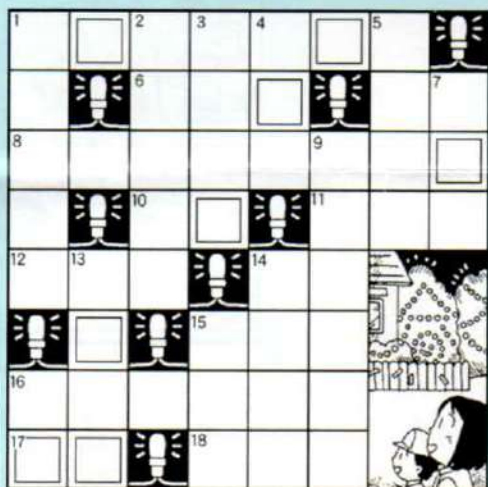
が大きな問題になっています。全国保険医団体連合会の調査では、3割の学校が「口腔崩壊」の子どもがいると回答しました。口腔内に困難を抱える子どもたちの背景には、「医療費を支払えない」「歯科医院に連れていく時間がない」「親が受診の必要性、予防の重要性を

知らない」などの社会的要因があることが指摘されています。健康格差の解消に向けて、国をあげての対策が求められています。



クロスワードパズル

【問題】二重ワクの文字を、つないでできる言葉は、なに？中の絵がヒントです。



答

ヨコのカギ

- ①12月24日に大忙しの人 お店も
- ②着物の懷中に携帯する紙 ⑭「火の国」熊本シンボル、……山
- ③グラドルとも略称される女性モデルの一種 ⑮責任を持たせさせること
- ④ブナ科の木。実は、いつて食べられます ⑯在庫品を割引き価格で売る店
- ⑤お金のこと ⑰山の頂上
- ⑥老舗もあれば回転する ⑱漢字で「欠伸」

タテのカギ

- ①色つきメガネ ⑨一気に飛び越えること
- ②高圧的なこと ⑩根本的な心の持ち方
- ③取り合うこと。票の…… ⑪攻撃
- ④ヨーロッパとアジアにまたがる連邦国家 ⑫ヒラヒラのスカートに付いてます
- ⑤水を各家庭に届けます ⑬魚やもちを焼く時に使います
- ⑥速いリズムのチェコの民族舞曲 ⑭

- ハガキに①解答②医院名③新聞の感想・意見④住所⑤氏名を必ず書いて、〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33 大阪府歯科保険医協会「医院新聞」係へ。
- 正解者40人の方に抽選で「図書カード」を進呈します。
- 応募締め切りは2019年12月31日（消印有効）です。
- 9-10月号の答えは「ピジュツテン」。
- 当選は、八尾市 山本桃羽様 他39人でした。



ウェブでも応募が可能になりました。

「大阪府歯科保険医協会 医院新聞」で検索
左記QRコードから「応募フォーム」にアクセスしてください。
※メールでの応募は終了しました。

ご存じ ですか？

消費増税なんのため？

社会保障の財源というウソ

10月から消費税率が10%に引き上げられました。複数税率が導入され、食料品などは税率8%に据え置かれてきましたが、負担は軽くありません。

そもそも消費税は社会保障の拡充を目的に導入され、「財政危機だ」「社会保障の制度維持だ」と、ことあるごとに引き上げられてきました。10%への税率引き上げも「全世界型社会保障」実現が目的と説明されてきました。しかし、これまで消費税による増収分は社会保障にはほとんど用いられず、大企業への法人減税と超富裕層への所得減税に充てられてきたのが実態です。その結果、税収に占める消費税の割合が増えただけで税収全体はほとんど増えていません(図)。

その一方、社会保障は、2013年からの6年

間で3.9兆円も引き下げられてきました。医療・介護では国民の負担を引き上げ、医療機関や介護施設に支払われる診療報酬・介護報酬は引き下げられました。老後の生活を支える年金は削減の一途を辿っています。

不公平な税制度を正すことで38兆円もの財源が生まれるとの推計もあります。未来の日本のために税のあり方を見直す必要があるのではないでしょうか。

1990年度	所得税 最高税率70%	法人税 40%	消費税 3%	その他
60.1兆円	26.0兆円	18.4兆円	4.6兆円	11.1兆円
一般会計 税収	-6.1兆円	-6.1兆円	+13兆円	
2018年度 過去最高	所得税 最高税率45%	法人税 23.2%	消費税 8%	その他
60.4兆円	19.9兆円	12.3兆円	17.6兆円	11.6兆円

衛生士だより

近年、歯科を受診するスタイルが変わってきました。昔は、歯にむし歯などのトラブルが起こったときに受診して、歯を修復・治療すれば、その後は何年も通院することがない患者さんも少なくありませんでした。

人が歯を失う原因の9割が、歯科の2大疾患の「むし歯」と「歯周病」です。この2大疾患から歯を守るために、歯科診療所へ定期的に通い予防的処置をすることが重要になりました。

歯科医院で予防的処置の中心的役割を担うのが国家資格である歯科衛生士です。現在、



生涯の健康に定期的予防処置

歯科衛生士として働いている人数は、約12万5千人。この25年で3倍近く増えましたが、まだ需要に追い付いていないといわれています。

歯科衛生士の業務は大きく分けて3つあります。①歯石・プラーク除去など「口腔清掃」、②歯科診療の補助、③セルフケアや食生活をアドバイスする歯科保健指導——です。

口腔の健康が全身の健康に影響を及ぼすことが知られるようになりました。生涯を自分の歯でしっかり食べられることが重要です。歯科衛生士の出番です。

カマヤん 見守り ありむら潜

